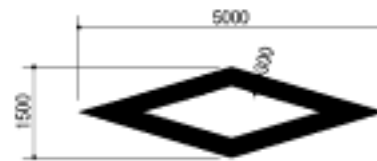
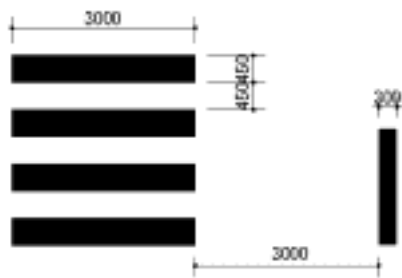


区画線の豆知識【寸法編】

公安委員会【宮城県警察】の路面標示の色々



横断歩道

長さ 3 m 幅 45 cm 間隔 45 cm

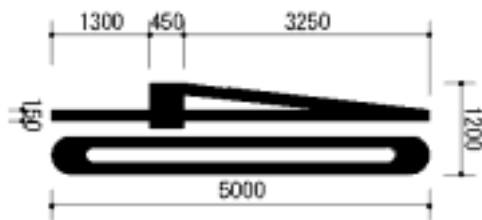
停止線

幅 30 cm 2車線以上は45 cm

予告マーク

信号機の無い横断歩道に設置

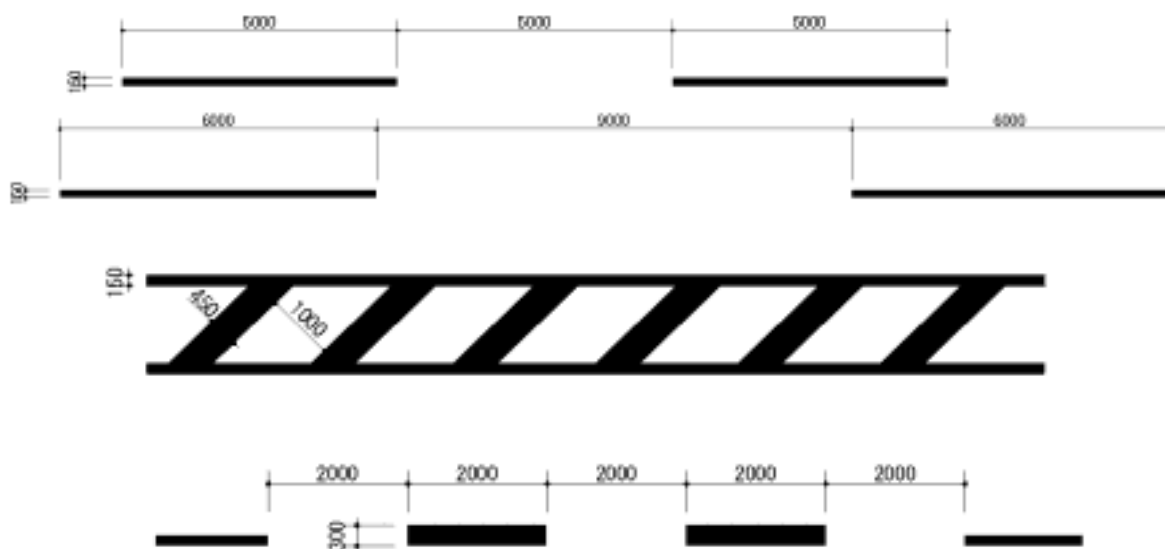
速度文字



はみ出し禁止

幅 15 cm

道路管理者の路面標示の色々



車道中央線・車線境界線（破線）

車道中央線の破線は5m間隔。車線境界線は、5m間隔と、6m塗って9m空きの2種類
国道は6m塗って9m空き

ゼブラ

ゼブラの幅は45cm で1m間隔 角度は45° 外周の幅は15cm

バス停

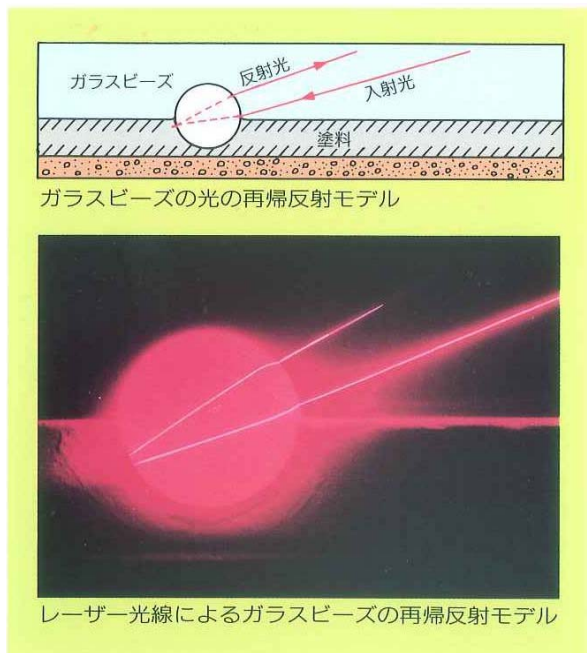
バス停は、2m間隔 幅は30cm

区画線の豆知識【夜間でも見える理由】

一見ただの白や黄色の線に見える区画線。昼間は見えていても、夜間に見えなくては何にもなりません。区画線には夜間でもよく見えるように工夫がしてあります。

区画線には”ガラスビーズ”と呼ばれる小さなガラスの粒がたくさん含まれています。そのビーズが車のライトに反射(再帰反射という性質)して、夜間の視認性を高めています。昼間の走行で白や黄色が見えていても、夜間に見えなくなるのは、このビーズが無くなっているからなのです。昼間見えるから線を引き直さなくても良いということにはなりません。

ガラスビーズの再帰反射モデル



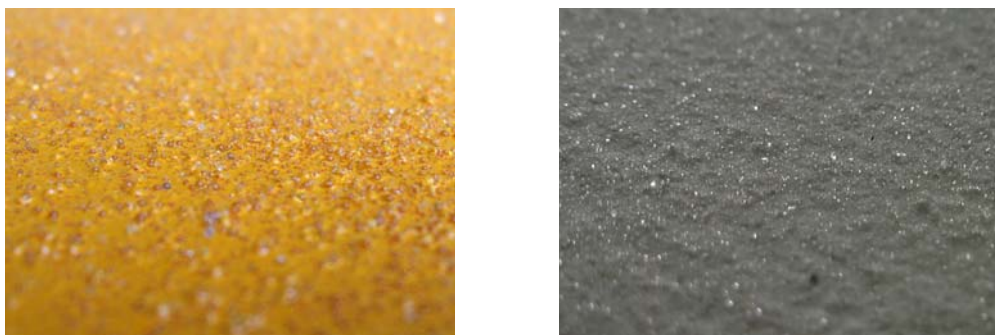
ガラスビーズ本体



ガラスビーズ本体の散布前後比較



実際の区画線におけるガラスビーズの状況



区画線の豆知識【材料・施工編1】

材料の種類

1. 溶融式樹脂塗料

ちょっと、聞き慣れない材料ですね。材料の原料は樹脂材・骨材・顔料で造られてるよ。実は粉末状の材料をトラックに搭載した溶融釜に入れて熱をかけるとドロドロした液状になるよ。それを施工機と呼ばれる線を引く機械に入れるんだ。

溶融釜に材料を入れてるところ



熱で溶かした材料を施工機に入れてるところ



材料の温度は180°



夜間反射のためのガラスビーズをいれてるところ



矢印を引いてるところ



区画線の豆知識【材料・施工編2】

材料の種類

1. 水性ペイント

地球環境を考えてグリーン調達法という法律ができました。
その法律によって使用することが決まったのが水で造った水性ペイントです。
主に延長の長い外側線・車線境界線に使用してます。

材料はドラム缶に入ってきます。160リットルは入ってます。車の走る速度を決めるためテスト板に引いてます。



外側線を引いてます。



車線境界線(破線)を引いてます。



高速道路も水性ペイントです。

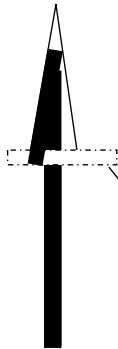


区画線の施工方法

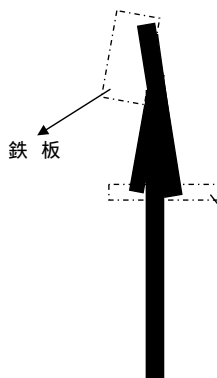
矢印【直進】



始めに直線部分を引きます。



次に斜めの部分を引きます。
はみ出す部分にガムテープを貼ります。



最後にもう一つの斜めの部分を引きます。
大きくはみ出す場所に鉄板をおきます。



すべてのガムテープ・鉄板をはがすときれいな矢印ができあがります。

溶融シートの施工方法

溶融シートは、機械では施工不可能な複雑な図形又、色々な色などを表現できます。
身体障害者の駐車マークなどが良く見受けられます。
設置は簡単。シートを置いてガスバーナーで炙れば施工終了です。
下記のシルバーゾーンは、お年寄りの横断の際の注意喚起に設置しています。

作図状況



路面清掃



プライマー【接着剤】塗布



シート設置状況



シート加熱



設置完了

